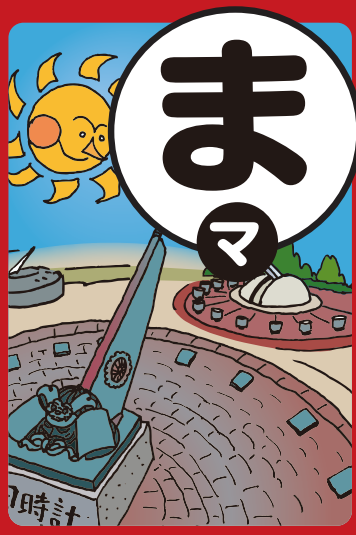




は
はるつげる
いかなごの
しんこりよう

解説 明石に春の訪れを告げるイカナゴのシンコ漁。シーズンには釘煮を炊く甘い辛味が漂います。



ま
まちじゅうに
いつばいあるよ
ひどけいが

解説 学校や公園、教会や商店の壁などに日時計が。晴れていれば、時計がなくても外出可能かも。



ひ
ひるあみは
かつきあふれる
さかなのせりいち

解説 午前中に水揚げされた魚が、お昼前にセリにかけられ、お昼過ぎには店頭並びます。



み
みなそこに
ねむるでんせつ
あかいし

解説 明石の地名の由来のひとつとされる松江海岸沖の海中に鎮座する、赤色の石です。



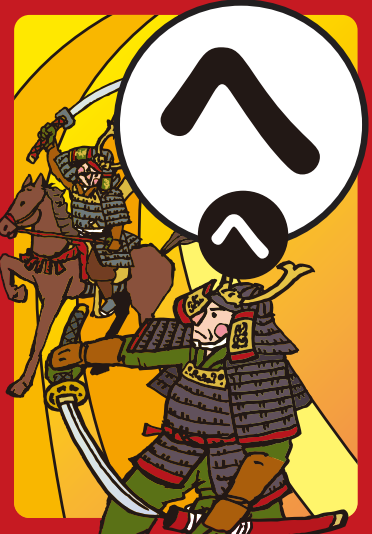
ふ
ふつつふ
ぶらつくほしはかせは
じかんをみだす

解説 軌道星隊ソゲンジャーの敵役。寒いダジャレで時間を乱します。



む
むかしむかし
あかしげんじんが
すんでいた

解説 昭和6年、旧石器時代を生きた原人の腰骨と考えられるものが大久保町谷八木の海岸で発見されました。



へ
へいけものがたり
ぶたいになった
あかしのち

解説 清盛をはじめとした平家ゆかりの地や、源氏と平氏の戦いの舞台が数多く残っています。



め
めろんなみ
あまさがじまん
すいとこーん

解説 メロン並みの甘さが自慢のスイートコーン。朝収穫したものは、その日のうちに生で食べることもできます。

カルタの使い方

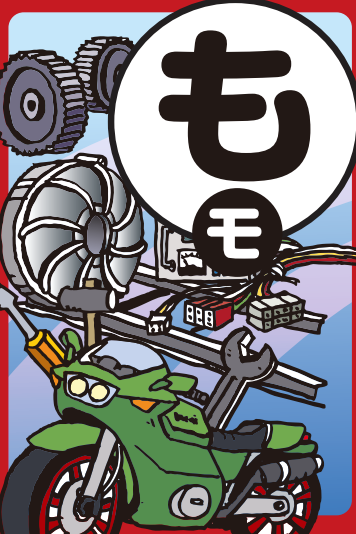
◎カルタで明石のたからものを覚えよう

◎ひらがなのお勉強



ほ
ほっぺが
おちるよ
しみずのいちご

解説 魚住町清水で栽培される甘さが魅力のイチゴ。知る人ぞ知る逸品です。



も
ものづくりの
でんとうを
まもるまち

解説 県内4位の製造品出荷額（二輪自動車、建設機械など）。昔からものづくりが盛んなまちです。

◎カタカナにもチャレンジ

たから